

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物処理業者と契約し、適切に管理及び処理をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・金融機関のCO ₂ 排出量算定システム(炭削くん)を用いて、自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・事務所はすべてLED照明にすることで、エネルギー使用効率改善に取り組んでいる。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・金融機関のCO ₂ 排出量算定システム(炭削くん)を用いて、自社の二酸化炭素使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・排ガス対応重機を導入することで、温室効果ガスの削減に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・熊本県管工事組合等の清掃ボランティアに参加し、水辺の整備など生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピー用紙等はリサイクル品を使用し、社内で使用する書類は裏紙の利用を促進している。 ・端材の有効利用(パイプの再利用)をすることで廃棄物の削減に取り組んでいる。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・給水衛生整備、上下水道整備により、地下水保全を行っている。 ・施工時に不純物、汚染物質や資材の不純物の確認を行うことで、安全な水を提供している。 ・工事に伴い排出された、汚泥、汚水は専門業者による適切な処分を行い、水資源の管理に取り組んでいる。 ・住宅に節水機能付きトイレ等の衛生器具を設置することにより節水に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙や事務用品のグリーン購入を推進している。 ・排ガス対応の車両や建設機械を使用し、環境保全に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所敷地内に景観維持のため花を植えたり、野菜を育てる等、緑の創出と保全に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・現場や事務所で発生したプラスチックごみやペットボトルは専門業者へ回収を依頼し、リサイクルを行っている。 ・流木を回収し、海洋ごみ削減に取り組んでいる。													12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3							
36	【2050年CO ₂ 排出実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2		

